

第88回 同窓会総会開催!!



於 磐田グランドホテル
平成26年8月17日



見中・磐田南高等学校 同窓会だより

第36号

発行日 平成26年10月10日
発行者 見中・磐田南高等学校同窓会
発行責任者: 伊藤 英明
印刷 株式会社 大進堂
同窓会ホームページ
<http://bannan-dousoukai.com>

歴史を重ね継ぐ 未来に夢を抱きて

歴代同窓会長・議員・各支部長・校長・PTA会長・後援会理事長出席のもと、盛大に開催されました。

お。も。て。な。し。 母校に恩をかえしたい



総会実行委員長 長 荒美 高45回 渡

8月17日、多くの諸先輩、学校関係者、同窓生の皆様方のご支援、ご厚情を賜りまして、第88回同窓会総会・懇親会が無事開催されましたこと、担当年次といたしまして心より御礼申し上げます。この度、表彰を受けられました見中18回、南高7回、高17回の皆様方にお祝い申し上げますとともに、総会・懇親会とも多数の同窓生の皆様のご臨席を賜り、盛況のうちに終えることができましたことをご報告申し上げます。

今年の総会担当にあたり、三つの取り組みをしてみました。まず一つ目は、「在校生との協働」です。スタッフポロシャツやポスターのデザインを在校生に作成協力していただきました。次に二つ目は、「尾崎先生の墓参」になります。45回生及び46回生で見性寺にある見中初代校長尾崎楠馬先生の墓前を訪れました。最後の三つ目は、テーマ「お・も・て・な・し」母



懇親会 アカペラグループINSPI 高49回 北 剛彦さん(右から2番目)

受賞者 喜びの談

金

卒業70周年(中18回) 挨拶は鈴木和夫さん



父が戦病死した関係でずっと遺族会のお世話をして参りました。県の会長から日本遺族会の常任理事を暫く務めさせて頂き、お陰で海外へ出て外から日本を見る機会を与えられました。



金賞受賞者

ガダルカナル、重度の障害者の施設を訪問したとき、背の小さな女性が現れ我々を出迎えて下さいました。日本人でした。

ガダルカナルのホニアラはソロモン諸島の首都です。国会議事堂も立派に出来ており、道路も整備され、椰子園も立派に整備されておりました。勿論日本の援助によるものと思われま

銀

卒業60周年(高7回) 挨拶は筒井昭さん



銀賞受賞者

同窓会長をはじめとする関係者、そして今日お集まりの皆様改めて殊勲を頂いた事に感謝を申し上げます。思い出は第7回の熊本インターハイが、昭和29年夏に水前寺陸上競技場において開かれ出場した事です。一日目は浜商がトップで二日目に入り、ハンマーと円盤投げでがんばり、最後のリレーで三年生を中心としたメンバーが頑張り、二位となり、一点差で磐南が優勝した事です。

先程校長先生との話の中で、「正門に尾崎校長の『文武両道』」

銅

卒業50周年(高17回) 挨拶は松下功さん



海外での女性の活動について少し触れておきましょう。先ず、無いと直接伝えておきます。それがアジアの人達の本音であります。極東裁判史観に何時までも捕らわれていることはありません。

今回の受賞関係各位のご配慮に心から感謝申し上げます。母校並びに同窓会各位の益々のご発展とご健闘をお祈り申し上げます。

昭和37年春入学した当時は現在の東門が正門でした。授業中に先生が教室の中央を歩くだけで床が揺れて文字が書けない様な教室で学んでいました。又、15回〜19回生には雨上がりのゲ

ランドを通った生徒に対しては足跡がグランドに残る為、放課後に石拾いをしていたらき有難う御座居ました。又私事ですが昭和37年に陸上競技にて大分インターハイに出場、翌38年は名古屋での東海大会では暑さに負け、新潟インターハイには行けませんでしたが、39年(3年時)は主将として大阪インターハイに出場し、砲丸投げは決勝で7位、又同時刻にやり投げの予選とダブル、審判員の配慮に依り



銅賞受賞者



第88回 見付中学校 同窓会総会 磐田南高等学校

卒業40周年(高26回) 贈呈代表は青島秀樹さん
高26回生が同窓会に資金援助。壇上で代表の青島秀樹さんが、新同窓会長の伊藤英明に金一封を贈呈しました。

が校訓の一つに掲げられていますが、これは遺言であると思っ
ています。これからこの精神を
活かす行動を起こしてほしい」とお
願いましたところ
です。心踊る感動
と勇気を与える
のは、スポーツを
通じてであると思
っています。
学問向上も当然
然がらば然らなく
必ずやこの道を
学校が達成してく
れるものと思っ
ています。
今や健康で長生きできる時代
になりました。健康寿命を平均
寿命まで如何に近づけるかが重
要です。どうか皆様もお元気で
お過ごし頂きたいと思つていま
す。今日は誠にありがとうございました。

母校の伝統を繋ぐ

見付中学校 同窓会会長 高15回 伊藤 英明



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、8月17日の定例総会において同窓会長に選任された高松15回の伊藤英明です。もとより、浅学非才な身ではありませんが、会員の皆様のお力をお借りする中で、同窓会の目的である会員相互の親睦提携と母校の教育振興に努力してまいり所存です。皆様のご指導としてご協力を心からお願い申し上げます。

これまでの4年間、同窓会役員として同窓会だよりの編集に携わってまいりました。その中で得た最大の収穫は、母校創立の初代校長尾崎楠馬先生の偉大な人間像を遺稿集や回想録等で知ることができたことでありませう。今さら申すまでもありませんが、土佐生まれの先生は、大正11年、45歳の若さで新設の見付中学校に校長として着任されました。爾来、皎潔な人格、高邁な識見を以って、退職までの20年間、人間教育を教育理念に据え、勤労作業を通して質実剛健な気象を養うという特色ある学校経営を行ったのであります。当時の中等教育は社会情勢を反映し、上級学校入学を目的にしていたことから、勤労作業には保護者から反対の声が上

着任の交接と母校の近況

磐田南高等学校 校長

松田 好道



部の激励につくば市に行きました。

この4月から伊藤律夫校長の後任として着任しました松田好道と申します。見付中学・磐田南高等学校同窓会の皆様には、日ごと、母校の教育活動にご理解とご支援を賜り、深く感謝いたします。

高校現場には2年ぶりということもあり、当初は戸惑いもありましたが、日々熱心な教職員や何事にも一生懸命な生徒に励まされ、無事に磐南での一歩を踏み出すことができました。

7月下旬、私は、全国高等学校総合文化祭に出場する地学部、ビジュアル部、弦楽合奏

がったようでしたが、人格の基礎づくりは勤労作業にありとすの校長の確固たる教育信念は微動たにもせず、全国にも稀なる学校を創造していったのであります。その具体的作業は池や花壇の整備から動場の拡張、防風堤・水泳場の築造等々でありました。校長は、創立5年後の開校記念式典において、「悉く是血と涙と汗との結晶より成れる」と生徒による学園整備を式辞で感慨深く述べています。これら驚異的とも言える勤労作業は校長始め職員率先垂範、師弟同業の姿勢が生徒の心を動かしたものと確信しております。

より、研究の内容が群を抜いていた発表となりました。結果は、最優秀賞。研究発表部門と同時

ごに伺うことができました。

今年も新たな創立61年目に臨み、幹事会・年次委員会を重ね順調なスタートを切りました。去る5月24日には、新

感謝申し上げます。

臨席いただきました。

袋井支部総会

部は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

歴史は現在と過去との対話であるとも言われます。大正11年創立の歴史から生まれた母校の

慰霊祭のご報告

慰霊祭実行委員長 高36回 小栗宏之



8月17日午前10時より、はぐま会館におきまして平成26年度慰霊祭を執り行いました。この1年間の物故者80名と高36回物故者7名の御霊の平安を心をこめてお祈りさせていただきました。ご臨席いただきました、櫻井同窓会長、松田校長先生、同窓会及び恩師、学校関係者の皆様、高36回物故者のご遺族の皆様、本当にありがとうございました。

昨年、伝統ある慰霊祭担当のバトンを引き継ぎ、多くの同級生と共に準備をしてまいりました。この間には多くの方々に協力、ご助言をいただき、心より感謝を申し上げます。この慰霊祭の伝統が今後も引き継がれ、「同窓生の絆」がより強く、より広く結ばれ続けることを願います。

静岡支部では、歴代支部長のご努力により、総会への参加者が漸増傾向となってきています。そうした中、25年度は9月に、近年では最多の67名の参加を得て盛会裏に開催することが出来ましたが、一方で、見中卒業生を始めとするシニア会員の参加者が少なく、課題を残すこととなりました。そこで、役員・諸先輩の皆様にご相談・ご支援をいただき、「シニア会員懇談会」を12月に企画しました。初めて



第1回シニア会員懇談会

支部報告

関東支部長



17回博 高落

昨年、関東支部創立60周年に当り記念誌を発行するなど意義深い年となり、改めて「初代校長の尾崎楠馬先生の薫陶」があればこそ今日の支部があると思感した次第です。それとともに多くの同窓生の皆様を始め同窓会本部並びに母校からお祝い、助成、協力に支えられての幸運と思ひ、感謝申し上げます。

今年も新たな創立61年目に臨み、幹事会・年次委員会を重ね順調なスタートを切りました。去る5月24日には、新

感謝申し上げます。

袋井支部総会

袋井支部総会

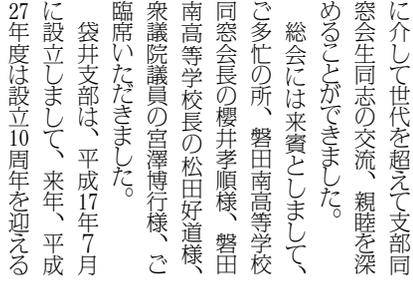
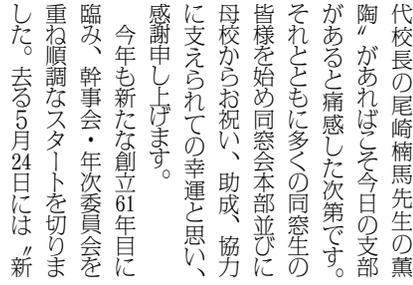
今年も新たな創立61年目に臨み、幹事会・年次委員会を重ね順調なスタートを切りました。去る5月24日には、新

感謝申し上げます。

感謝申し上げます。

袋井支部総会

袋井支部総会



袋井支部総会

北遠支部長



高17回 生熊 克己

北遠支部の活動について

北遠支部は、十数年前から休会致していましたが、当時の同窓会会長櫻井孝順氏より依頼をうけ、平成25年2月17日、昼の部に、童謡詩人故坪井安さん（高13回）を徳ふ会を他の会と共に催し、夜の部には、栄林寺にて支部準備委員17名が集い、支部再結成を決めました。平成25年10月19日には、北遠支部総会を開催することができ、40名の卒業生が、世代交流を図り、親交を深めることが、出来ました。磐田南高校長伊藤律夫先生（高20回）と、衆議院議員官澤博行氏（高45回）（お二人共北遠出身）の講演をいただき、無事に支部

再スタートを切る事が出来ました。今後共世代を超えて、親交を深め、お互いが情報を共有し、人の輪を大きく広げる会にしたいと願っています。様々な分野で会員の皆様が地域の発展や社会に貢献する事を期し、支部の再会と継続を進めたいと思いま



北遠支部総会

年次活動報告

高15回

磐田南十五回生の風光

我々は毎年同窓会を開催している。記念行事を控えた前年は多数が参加し、本年は古希、伊藤同窓会会長の誕生で大いに盛り上った。

この他にゴルフ仲間の「参八会」の活動がある。

元学長、社長から専業主婦、休日草刈ゴルフまで各人各様、定年退職後、ボランティアで珍ドング屋を演じ高齢化社会に花を咲かせている方もいる。実に豊かで面白い。ここに磐南精神（質実剛健・文武両道）を踏襲する面々、人と時を大切にする真摯な朋友がいる。実に有難い。【溝口徳一】

高知心の旅Ⅲ

「縁」の妙

今年一月の掛川・菊川支部総会で「尾崎楠馬先生の建学の精神」の話を聞き、その後にお誘いを受け、高知訪問に参加しました。まず、船本楠吉先生頌徳碑を見学。尾崎先生を幼少時から養育したという船本先生の教育の心を偲び、気持ちを新たにしました。

高知では、随所で温かなおもてなしを受けた。これは尾崎先生の「縁」による広まりと深まりだと聞いた。以前観光で訪れた当地とは異なり、優しさいっぱいの高知であった。

昔、校内マラソン大会ゴール近くにあった尾崎先生頌徳の碑。荒れた息を鎮める場所としての記憶がなかったが、こうして話を聞いたり、訪問したりしたことで身近な存在と感ずるようになった。

高16回 金田 浩子



平成26年1月18日 船本楠吉先生頌徳碑の前で。同窓生らと船本先生の孫の浩一郎さん90歳（右から2人目）

OB会活動報告

はくま会ゴルフクラブ

会長 高25回 金子 弘一

はくま会ゴルフクラブは今から33年前、高一回の加藤喜一郎大先輩を中心に誕生しました。ゴルフを通じて会員相互の親睦と、各自の健康増進を図るべく大会を開催してまいりました。

27回生は同窓会関東支部の総会担当学年として有志が集まったのを契機に、年に一度の親睦旅行を続けています。12回目の今年は甲府で開催しました。地元や関東、中部、関西、遠くは九州から毎年30名超が参加し、一泊二日で飲み語り歌ってパワワーを分け合っています。卒業後初めて会う人もおり、新たな出会いも生まれます。普段から百名以上が電子メールで交流して情報や意見を交換し、参加者を募ってジュビロの応援やコンサートに出かけるなど連携を強めています。南高という共通の基盤に立ち、現在と将来を共に生きる大切な仲間たちです。【三倉正樹】



五味先生を迎えての同期会

高27回

27回生は同窓会関東支部の総会担当学年として有志が集まったのを契機に、年に一度の親睦旅行を続けています。12回目の今年は甲府で開催しました。地元や関東、中部、関西、遠くは九州から毎年30名超が参加し、一泊二日で飲み語り歌ってパワワーを分け合っています。卒業後初めて会う人もおり、新たな出会いも生まれます。普段から百名以上が電子メールで交流して情報や意見を交換し、参加者を募ってジュビロの応援やコンサートに出かけるなど連携を強めています。南高という共通の基盤に立ち、現在と将来を共に生きる大切な仲間たちです。【三倉正樹】



古希の集い

高21回

君が名を仄かに呼びて

涙せし

一五の春にかえる術なし

石川啄木

団塊の世代から少し後に生まれた私たちは卒業から45年が経ちました。50才での慰霊祭以降不定期で同窓会を開いています。

一昨年正月10年ぶりに60余名が集いました。残念ながら15名の同期が他界し、7名の担任



山梨への親睦旅行

金澤成光会長（高4回）、4代目佐藤芳雄会長（高5回）、5代目筒井昭会長（高7回）と受け継がれ、今年1月の総会で6代目広岡征夫会長（高14回）が就任されました。毎年一月に総会を開催して親睦を深めるとともに、活動協力金の助成や備品の贈呈をしています。



寄贈した部旗の前にOBと現役員

足しました。以来四年に一度懇親会を開催し、親睦を深めています。平成十四年の創立八十周年の折の現役・OBの交流試合には多くのOBが参加し現役員との交流を深めることができました。試合後、現役生と昼食を共にし、ボール数タースを贈らせていただきました。

サッカー部OB会

OB会長 高18回 安間 英雄

我々、現役の時代にくらべサッカー・スポーツに対する注目度、関心も隔世の感があり大変嬉しく思っております。そんな中で、OB会としても、毎年、ささやかではありますが、現役に活動資金としてお正月の2日に手渡ししております。この2日は毎年、OB会主催の「初蹴り」と称し恒例行事となっております。通知もしないのですが、毎回二百余名の人が参集し、現役との交流も深めています。また、毎三月初めの、県下西部

磐南テニス部OB会

OB会長 高15回 古山 登章

磐南テニス部OB会は平成四年に、幹事の長尾仁さんたちが発案者となり、テニス部の卒業生同士の交流、親睦を深めるとともに母校のテニス部への支援をしていきたいという考えで発



解散記念コンペに参加した同窓生

陸上競技部OB会

事務局 高28回 石山 賢一郎

昭和47年8月、第25回全国高等学校陸上競技選手権大会（山形陸上競技場）にて4回目の全国制覇をした翌年、初代伊藤菊造会長（見中9回）のもと発足をしました。その後、2代目井指正之会長（高12回）、3代目



児玉先生を囲んでのOB会



高4回を中心としたOB会

支部総会に参加を

関東支部

支部長 菱合 博（高17回）
住所 横浜市戸塚区矢野町1029
電話 045(881)2866
総会日 平成26年11月8日(土)
会場 ティー・ナイト大手町店B1F

静岡支部

支部長 鈴木 一雄（高24回）新任
住所 浜松市中区広沢2の27の20
電話 053(451)3955
総会日 平成26年10月17日(金)
会場 ホテルセンチュリー静岡

掛川・菊川支部

支部長 大庭 勝良（高7回）
住所 掛川市杉谷南1の16の4
電話 0537(21)7033
総会日 平成27年1月予定
会場 パレスホテル掛川

袋井支部

支部長 松本 貞（高16回）新任
住所 袋井市岡崎3928の3
電話 090(767)6027
総会日 平成26年7月27日(日)
会場 袋井市総合センター

磐田支部

支部長 青島 克樹（高14回）
住所 磐田市中区崎4の11の11
電話 090(261)1509
総会日 平成27年4月18日(土)
会場 磐田ランドホテル

豊田支部

支部長 芥川 知孝（高20回）
住所 磐田市池田1288
電話 0538(35)2664
総会日 平成27年2月8日(日)
会場 磐田市中区豊田支所

北遠支部

支部長 生熊 克己（高17回）新任
住所 浜松市天竜区二俣町一俣057の2
電話 053(52)0117
総会日 平成26年10月18日(土)
会場 栄林寺

西遠支部

支部長 村松 運（中20回）
住所 浜松市東区北島町556
電話 053(421)3721
総会日 会場 未定

東海支部

支部長 大橋 正隆（高8回）
住所 名古屋市中区
電話 052(27)23001
電話 052(97)7663
総会日 会場 未定

関西支部

支部長 大石 英機（高12回）
住所 奈良市朱雀二丁目1の7
電話 0742(71)7098
総会日 平成26年11月9日(日)
会場 ホテルグランヴィア大阪19F

卒業生は今

繋ぐ



歌を通して伝えたい

高49回 北 剛彦



プロフィール

アカベラグループ
INSPI (インスピ) ポーカル
いわた茶 PRR 大使

二〇〇六年より HITCHI の企業 CM にて「この木なんの木」CMソングを担当して以来、皆様ごこで声を聴いたことがあるかもしれません。アカベラグループ INSPI の北です。

磐南を卒業後は大阪大学工学部電気電子工学科に進み、将来は電気や光に関する仕事をしたいと思いつつ勉強に励んでおりました。子供の頃からピアノを習ったり、高校でははくま祭にてバンド演奏をしたり、もともと音楽が好きだったので入学と同時にサークル活動としてアカベラを始めました。

二〇〇〇年頃に、TV番組「ハモネブ」に出演したことをきっかけに、日本のエンターテインメントの老舗事務所、ワタナベエンターテインメントに声を掛けられてCDデビューの話が舞い込みました。もちろん迷いはありましたが、自分が将来何をしたいのかをよく考えてみると、自分の作りだしたものを世の中に投じて世間の評価を得るという意味では電気・光の製品開発と音楽では少しも変わらないのではないかと、という結論に達し活動の中心が東京であったため、学業を断念しエンターテインメント業界に足を踏み入れました。

以降十三年、日本全国はもとより、インドネシア、タイ、モンゴル、ウズベキスタン、カザフスタン、メキシコ、ブラジルと世界各地でも国際交流基金

による日本文化を伝える活動に参加し、日本の古き良き歌を歌ってスタンディングオベーションが起るほどの好評を得ました。

声だけで音楽を作り出すのは、とても大変な作業です。メンバーの体調や感情を合わせるには日々の鍛練とコミュニケーションが欠かせません。だからこそ、とても奇麗にハーモニーが奏でられた時の喜びはひとしおです。

そうして歌い続けてきた僕たちが今伝えたいのは「声を合わせる」事の重要性です。人と人が何かをするときに、掛け声を掛け合う。それはものすごい力の源となり得る。8/6にはそんなテーマのニューアルバム「インスピ浪漫2」が発売になりました。CDで聴いて欲しいですし、お近くでコンサートをするのであれば、ぜひとも生でアカベラを体験してみてください。

個人的には、磐田市農林水産課の指名を受けまして「いわた茶 PRR 大使」を二〇一三年より務めさせていただいております。お世話になってきた方々のためにできることを、少しずつですが恩返しできればと思います。今日も歌い続けます。

東日本大震災を 間近で体験して

高62回 関塚貴一



プロフィール

東北大学大学院
情報科学研究科 修士二年

磐田南高等学校に在籍していたのが五年前であることを考えると、もうそんなに経ったのかと不思議な気分になります。磐南卒業後は土木計画を学ぶために東北大学に進学しました。仙台市に住み始めてからの四年間は、静岡にいればなかなか出会うまいであろう関東や東北地方出身の友人に囲まれ、とても充実したものとなりました。磐南ではバドミントン部に所属し、勉強と部活動だけでなく、何事にも全力で取り組む文武両道の精神を培いました。そのため、様々なことに積極的に

チャレンジする姿勢が身につけており、大学ではゼミや学生主体のイベント運営、そしてアルバイトなどを通じて、大きく成長することができました。

その中でも、私に最も大きな影響を与えた出来事の一つに、東日本大震災が挙げられます。マグニチュード九・〇の大地震が東北地方を襲い、未曾有の被害をもたらしました。私は当時、学友会の大会で札幌にいました。揺れを感じた時に、誰かが人ごみの中から「東北地方で震度七！」と叫んだ声を聞きました。その瞬間の気仙沼出身である友人の、血の気の引いた顔を今でも鮮明に覚えています。ホテルに戻りテレビを付けると、「仙台市荒浜水死体二〇〇〜三〇〇」のテロップが目に入り、私自身もただごとではない恐怖を覚えました。

静岡県は東海地震が起ると以前から言われております。そのため震災は決して人ごとには思えません。私は土木工学を専攻していたため、震災を扱う講義が多くなり、被災地見学なども行われました。このような経験をするうちに、震災がいかに恐ろしいものであるかを痛感しました。次第に授業に臨む態度も改められ、より一層真剣かつ積極的に授業に取り組むようになりました。土木を志

す以上、自然災害と向き合うことは必ずとなります。そのため、今のうちから少しでも多くのことを知り、将来の仕事に生かす必要はないか、それが磐南から東北大学へ土木計画を学ぶに進学した私がやるべきことなのではないかと考え日々勉強に励んでまいりました。この努力が認められ、学部の卒業時には、大学四年間の総合成績優秀者に送られる、工学部長賞を受賞しました。また、卒業論文は震災時の人の避難行動についての研究を行い、土木計画の視点から震災を見つめました。大学卒業後は、東北大学大学院に進学し、現在も継続して震災関連の研究を深めています。また、東北大学の充実した学習環境を生かし、国際学会に向けての論文執筆や大学の留学プログラムに応募するなど、海外を意識して努力を積み重ねています。災害は世界各国どこでも起こります。それに対して、自分は何ができるのか、そのためには今何が必要なのかを考えることは重要なことです。将来自分が社会で活躍する姿を思い浮かべながら、学生のうちにしかできないことをしっかりと考え、実行に移していきたいと考えています。そして、社会に出たときに即戦力となり、社会に貢献できる人になれるよう、これからも日々精進していきたいと思えます。

私の社会貢献とライフワーク

高29回 鈴木恵子(旧姓神井)



プロフィール

特定非営利活動法人
魅惑的倶楽部 理事長
浜松市市民協働センター
副センター長

「磐南(ほんなん)」の三年間は、本当に懐かしい日々、思い出いっぱいです。その中心は、何と言っても部活動。音楽部に入り、はくま祭のステージを目指して、日々燃えていました。当時、自分の存在価値は、部活動の中に見いだしていたのかも知れません。卒業して最初の職業は、中学校の音楽の教師。十年ほど勤めて、退職しました。その後出会ったのが、県立浜松特別支援学校の生徒達。この出会いをきっかけに、ずっと音楽に関わっていた私は、この音楽を使って、何か社会貢献ができればいいなと思い始めていました。そして、三十代の中頃、志を同じくする仲間と出会い、NPO法人を立ち上げ、それが今の自分の仕事、ライフワークとなりました。

知的障害のある人が、社会の中で差別偏見を受けていることを知り、「魅惑的生人四季(障害のある人と共に祝う成人式)」「マジックハートコンサート(余暇支援コンサート)」を開催しました。また、先進国であるのに、差別偏見のために HIV の感染者数が増加し続けていることを知り、「レッドリボンプロジェクト(HIVエイズ予防啓発活動)」を継続開催しています。次世代への啓発にも力を入れ、「命の講話(自分の命が奇跡であり、無駄な命は一つもないという話)」を、法人の副理事長が、母校で講演をさせていただきました。現在は、ボランティアやNPO法人からの様々な相談を受ける「浜松市市民協働センター」の指定管理を受けています。あらゆる活動をしているように思いますが、心の中では「ユニバーサルデザイン」の社会を目指すことを目的としている法人としては、すべてが一つに繋がっています。法人の会員の中には、知的障害者も、HIV感染者もいます。またゲイやレスビアンというセクシャルマイノリティとの繋がりもあります。私は、高校時代、比較的自由な発想をもてるような指導をしていただいた気がします。ぎざぎざな規則に縛られることなく、自分で考え、自分で判断するということが、社会に出てからどんなに大切かということ、諸先生方や先輩後輩との関係から学んだ気がします。その恩返しとして、今の若者が、学校の中ではなく、社会の中にこそ、自分の存在価値を見いだせる場所があることを知り、夢を持って生きていけるような活動を、さらにすすめていきたいと思っています。

六年間 プラスアルファ

高3回 水野 勝



プロフィール

昭和三十年四月 大蔵省主税局
昭和六十三年十二月 国税庁長官
平成六年六月 日本たばこ産業株式会社
代表取締役社長
平成二十六年四月 日本たばこ産業株式会社
社長

昭和二十年四月に、見付中学校に入学した。三年生になった時に学制改革があり、高等学校に移行した。同じ建物に前後六年間通った。高校三年の時、七月に入って考えた。夏休み

の有効活用が大学入試の決め手になると思われた。それにはどうするか。市の図書館に行き、そこで本を読むこととした。ところが図書館となると矢張り同級生を始めとする友人、知人が少なからず居り、つい話し込んでしまう。いろいろ考えた末、夏休みでがらんどうになっている母校の校舎に行くことにした。

行ってみると、考えることは同じで、矢張り、休みの校舎に通う人が居た。しかし、その数は少なく、しゃべる人も余り居ないことがわかり、落着いて参考書が読めた。こうして、夏休みではあっても八月一杯は殆ど学校で過ごした。早目に昼食を済ませて出掛け、八時頃まで校舎に居たから、一日の在校時間は普通の日より長かった。こうしてみると、あの南高の校舎には六年間プラスアルファの長期間にわたってお世話になったことになる。ありがたいことであった。



尾崎先生と 関東支部60年

高35回 津川 悟



関東支部創立六十周年記念事業実行委員長

同窓会関東支部が昨年、創立六十周年を迎えました。同窓生や恩師たちの絆、先輩から後輩へと受け継がれた伝統を再発見する機会となりました。

関東支部の歴史を調べようと「尾崎楠馬先生遺稿集」などの資料を読み解くうちに、豊富なエピソードに圧倒されました。

昭和二年に最初の卒業生が上京した直後から、神田のカフェなどに集まっていたこと。戦前から関東支部があり、牧野正蔵氏ら五輪出場選手の壮行会を開いていたこと。支部総会には尾崎楠馬校長も出席していたこと。戦中・戦後に中断した関東支部が再結成（創立）されたのは尾崎先生が大きな役割を果たされたこと。そして創立総会出席を楽しみにしていた尾崎先生の闘病生活を支えたのは同窓生たちであったこと。

母校のはぐま会館には、教え子から尾崎先生にあてた膨大な手紙がありました。関東支部関係者の手紙を読んでみました。見付中学の回顧から学校・職場の悩み、終戦直後の混乱期の人生観、仕事の相談などを率直にぶつけ、尾崎先生と魂の交流が続いていたことが明らかになりました。

古い住所録を頼りに歴代支部長など先輩に連絡をとったところ、ご家族から貴重な資料を寄贈していただきました。尾崎先生の絶筆とされる関東支部創立総会の祝辞草稿、「遺稿集」に未収録の教え子への手紙、教え子の結婚祝い贈った漢詩が書かれた色紙など。尾崎先生の直筆の文書は意外と残っていないようです。創立総会の

写真など、歴史の証言となる資料もありました。創立後の関東支部の活動は、支部会報が第三号以外すべて発見されたことで、たどることができました。昭和五十年代から、担当年次が総会の幹事を務め、翌年に会報を編集する体制が確立されていました。学生組織「はぐま会」は三十年間も活動を続け、平成十七年から新卒者歓迎会が始まりました。先人の努力のうえに、現在の関東支部があることを改めて認識しました。

六十周年事業を通じ、関東・磐田を問わず、たくさんのお祝いの声、諸先生のお世話になりました。故人となられた大先輩も、会報など資料を通じて身近な存在となりました。見付中学・磐田南高校を結節点に、時空を超えて、多くの方とつながることができました。

同窓会本部のご支援をいただき、昨年十月に「創立六十周年記念誌」を発行し、全国の同窓生にお送りしました。過去の関東支部会報の記事を一覧も収録しました。会報の紙面や、ご寄贈いただいた資料は関東支部ホームページで順次公開します。母校の伝統と誇りを感じいただければ幸いです。

起業

高37回 椎木隆太



プロフィール
（株）ディー・エル・イー
代表取締役

行動することが大切・故郷への恩返し

・二〇〇一年ソニー株式会社退職、有限会社バサニア（現株式会社ディー・エル・イー）を設立し、代表取締役就任。ワーナー・ブラスアニメーション社やカートゥーンネットワーク社とのプロデューサー契約、世界的大手玩具メーカーであるハズブロ社と資本・業務提携契約を次々と締結。また、トランスフォーマーやG-ジョー等、数々の世界的な大人気TVシリーズのプロデューサーを手掛け、日本のアニメ業界では初の米国プロデューサー組合会員となる。

・二〇一二年七月よりDLE-ERA（台湾）の取締役就任（現任）。同年十一月よりDLE-ERA（米国）の代表取締役就任（現任）。福岡県知事顧問。
・二〇一四年三月二十六日に東証マザーズ上場を果たす。

本年度の同窓会関東支部会報のインタビュー記事をもとに、椎木隆太氏を紹介させていただきます。

この春、椎木氏が経営する株式会社ディー・エル・イーが東証マザーズに上場した。設立して十二年三月月という異例の速さに加え、エンタテインメント業界では十年ぶりの上場という点でも話題を集めた。

「自分は将来、どこかCEOを成し遂げる。子供の頃から椎木氏はそう信じて生きてきた。この信念こそ躍進の原動力であり、それを支えてくれたのが磐田の人達だった。前に向かう思いを、周囲から否定されることなくいられたことが、本当にありがたくなっている。」「さう。

椎木氏は起業を目指し、尊敬する経営者である盛田昭夫氏の下でその経営哲学を学びたいとソニーに入社した。二〜三年で起業しようと考えていたが、国際企業であるソニーでの仕事はダイナミックで、夢中で仕事をやるうちにあっという間に十年が経った。最年少での駐在所長にも就任するなか、会社員としてのキャリアは極めて順調だったが、起業への夢は萎えることはなく、実績を重ねるにつれ、チャレンジしたい想いは募っていった。気が付けば憧れのソニーは「自分の人生の選択権を握られてしまう制約」になっていた。

自信はあったが迷いがなかったわけではない。「このまま会社員として働いて年齢を重ねれば、必然的に夢の実現は難しくなる。それだけでなく、海外畑の自分は家族との生活の場（国）も会社が決めてしまおう。どんなに出世できるとしても、自らの意思

で決定できない人生を歩みたくない。やっぱり起業しよう。」「そして設立したのがディー・エル・イーの前身有限会社バサニア。このとき背中を押してくれたのも、家族と両親と地元磐田の仲間たちだった。

ついに起業の夢を実現させた椎木氏は「磐田に恩返しをしたい、何らかの形で貢献できたら」とその機会を探していた。そこへ磐田市の関係者からこんな依頼が舞い込んできた。「しっぺいくんを、なんとか、全国一位にしたいと思っています。力を貸して欲しい。」

しっぺいくんは、今では言わずと知れた磐田市のキャラクターだが、当時は全国ゆるキャラコンテストで二三位と全く人気なかった。絶望的な自信はなかったが、椎木氏は依頼主の言う

言った。僕にできるのは、アニメーション化して、ちょっと賑やかにして、子供たちが楽しく踊れるようにする程度。優勝は無理かもしれないけれど、市民に愛されるコンテンツを作るので、あとの盛り上げは皆さんにお任せします。そして昨年、しっぺいくんはついに同コンテストで全国トップテン入りの快挙を達成した。

さらに、静岡県民で知らない者はいないであろう、あの「パンパカパンツ」も、実はディー・エル・イーがSBSと共同で企画・開発したキャラクターだ。すでにディー・エル・イーは、静岡県民、磐田市民にとっては地元企業のひとつとして地域貢献している企業といえるだろう。全国的に有名な「鷹の爪団」を引っ提げて、起業から上場



（株）ディー・エル・イー とはどんな会社？

キャラクターの新規開発からキャラクターを活用したマーケティング・サービス、スマートフォンの企画開発等、映像コンテンツの企画製作及びメディア展開プランの策定・実行までを統合的に手掛けるファスト・エンタテインメント事業を展開。「秘密結社 鷹の爪」「パンパカパンツ」等のコンテンツでお馴染み。

教育座談会

《出席者(敬称略)》

- 中島 通雄(中20回)
- 鈴木 ま起(高4回)
- 櫻井 孝順(高17回)
- 高塚 勝久(高32回)
- 鈴木 千枝(高35回)
- 松田 好道(二十四代校長)
- 笹本 美和(生徒会長)
- 伊藤 英明(編集委員)
- 谷口 智子(編集委員)
- 鈴木 昭次(司会)

在学時の 学校生活の思い出

—南高は初代校長尾崎楠馬先生から伝統ある教育が行われてきております。始めに皆さんの在学中の思い出、印象に残っている教育指導、先生がありましたら、お話しして下さい。



中島 通雄さん

中島 私が中学に入った一



出席者のみなさん

※粗朶束…切り取った木の枝の束

年の十二月に太平洋戦争が始まり、私はその時太田川に近い農家に勤労奉仕に出ていました。田んぼを掘り粗朶束を埋め、排水を良くする作業をしていました。学校の北側は全部畑で、さつまいもや麦を作ったりしていました。中学に入ってから三年たった昭和十九年八月に学徒動員で二十回生は名古屋の工場に動員されました。夏休みもなく戦闘機の部品を作っていました。実際に学校に通ったのは三年と一学期だけでしたが、

母校磐田南高等学校は「質実剛健・真剣至誠・文武両道」の校訓のもとに見付中学からの伝統を受け継ぎ、未来に向けて新たな躍進を遂げるべく人材の育成に力を注いでいかななくてはなりません。教育がいかに大切かという事を思い、ここに座談会を開催いたしました。

〈平成二十六年七月三十一日 学校応接室にて〉

テーマ

伝統・今・そして未来へ

短かくても充実した授業で、大事な事は教えていただきました。

私の入学時の口頭試問は尾崎先生にやっていただきました。一年で尾崎先生は退職され、二年から佐野校長となりました。

中二の時皆んな坂に並んで尾崎先生の頌徳之碑の除幕式を行いました。

見中十九回までは五年で卒業しましたが、私達だけは戦争のため四年で卒業でした。私達は名古屋で卒業式。私は海軍兵学校に入ったので卒業式には出られませんでした。

太平洋戦争さなかの学生時代でした。登校すると靴下を脱いで素足になりました。冬でも裸足で通しました。朝礼は七時四十五分から天気の良い日は校庭で、雨の日は柔道場で校長の訓示を聞きました。

一年の時は校歌を作った伊藤勉先生、四年の時は校章を作った黒澤先生が担任で、どの先生も思い出があります。

最後の十九年は地震もあり、私は十二月には受験の關係で寮を離れて家にいましたが、その間、寮にいた人達は苦勞したようです。だから同級生のつながりはとても強いものです。毎年

短かくても充実した授業で、大事な事は教えていただきました。

いつも校歌を歌っている時在学中に歌っていた歌詞と三ヶ所違ふんですね。

一番の「永久の栄を尊み仰ぐ」のところは、「君が御稜威を畏み仰ぐ」「若き我等に溢るる光」の光は「恵」でした。

二番の「学徒の行途」のところは「男子の行く手」でした。

ほんとうに思い出多い学校生活でした。



鈴木 ま起さん

鈴木 私は皆川校長と、飯田校長から木原校長の時です。

飯田校長は特殊な教育とありますが、大学に、もどられたような方で大学教育のような感じでした。皆川校長は、自由主義とは、民主主義とは、こういうものだと思心で読んでくださいました。

木原校長は、環境の整備という事を強く訴えられ、常に校内をきれいにして、学問もそうですがとても厳しい先生でした。小学校六年生の夏、終戦となり、翌春受験して見付高等学校(現在の県立磐

田北高校)に入學。小学校は男女全く別々で、私は小学校に入って女学校を卒業するまで九年間女子だけの教育でした。南高に来て初めて男子と一緒にになりました。

磐田北高併設中学から磐田南高校に移る時は、春休みの一週間という短い期間に決めなくてはなりません。入学式で初めて五十人の仲間を知りました。高等女学校での授業は、見

中で三年間男子が数学や英語、理科を勉強していた間、私達は家庭科やお作法、被服を学びました。私達はそれがあたり前と思って胸をはって過しました。しかし転入し、数学の先生が「女学校と男子校の生徒の間には学力の差があり過ぎる。学力の程度が低く、とてもついていけない。補習授業をやる」という事で、放課後英語と数学を、一般中学より受験入学した級とが受けました。

「私達は能力がないのではない。時間数が少なすぎて学ばなかっただけだから先生が能力がないと思わないでくれ」と強い意志をもって発言した生徒もいました。私達には屈辱でしたが、負

けずに頑張りました。二年生になってからはじめて男女一緒に勉強するようになった。それほど追いついたり、男子に負けないという事より自分に対して



櫻井 孝順さん

櫻井 私が入学したのは昭和三十七年伊藤新七郎校長の時でした。

卒業したのは東京オリピックが開催された年でした。思い出にありますが南側の一番新しい校舎ができた年であり、それまでのグラウンドにそった平屋の校舎が取り壊されて、それが鉄筋の校舎になっていった時代でした。私達は部活というものを大切にしていま

した。それぞれの部活の先生とのコミュニケーションが大事だったなと思います。私も生物部とサッカー部に入っていました。生物部は黒澤先生のもので、それぞれ放課後の時間がとてもありがたく思い出します。今になって母校の歴史を

みてみると「師弟教育」という尾崎校長の言葉がでてくるわけですが、まさしくその通りであります。当時本屋さんにはいろんな参考書や受験書が全て出ている時代だったので、勉強は家に帰ってからでもできるものであり、勉強よりも先生とのコミュニケーションをとれた事が非常にありがたく感じました。それからひとつの励みになった事は、当時は先輩の進学校が全て貼り出された事です。前年度の誰々が

どこかの大学に入った。それから成績表がある程度貼り出されました。「二科目だったらこうだ」「五科目だったらこうだ」と。はあ、すごいなあ、ここまで発表されるんだと一つの励みになりました。

はぐま祭の事ですが当時からはぐま祭が行われてきたという事を思い出します。先生とのコミュニケーション部活を通し、また校舎の移転とひとつの新しい時代に入ろうとしていた感じがしますし日本もオリンピックから変わりつつあった時代だったと思います。

今より学校が目録設定を貼り出すとか在校生の志気を盛りあげようとする時代ではないでしょうか。

こんな磐南生徒を 育てる教育を

—学校教育とともに今家庭教育の大切さが見直されているところですが保護者の立場で、学校と連携してどのように子供達と関わっていく事が大切か、ご意見を



高塚 勝久さん

高塚 二年前に磐南のPTA会長を務めさせていただきました。その後、県の公立高等学校PTA連絡協議会の役で出ていまして、磐南PTAの顧問として籍をおかせていただいております。息子が磐南に入学してからPTA活動が五年目に入っているところです。

PTAの会場で話題にな

るのがスマホの問題ですね。スマホは便利で否定する事はばかりではないがスマホに伴うコミュニケーションの問題とかいろんな危険もはらんでいると思います。

となると、伝えたい事が食い違ってしまったりするのでもスマホに頼りっぱなしではだめだと思えます。ちゃんと顔を見てコミュニケーションを図らないと友人関係に問題が起きてしまうのでやっぱり会って話をするのが大切であると思えます。



鈴木 千枝さん

このような状況の中で、子供と親のコミュニケーションが唯一問題解決に繋がるのではないかと思います。親の立場であるが故に気づく事ができるような危険な事、それを解決していく事も親子のコミュニケーションでしよう。子供達が今どんな事を望んでいるか、今何を目標としているかという事を聞く、話し合う事が問題解決になっていく中で、どれだけ子供と自然にコミュニケーションがとれているかが大切な事です。

子供達の高校生活がどんなものか興味を持つ事が大前提になります。私自身もPTA活動をするにあたり、高校時代に帰ったつもりで、高校生活をもう一度検証してみようという思いを持ちながらPTA活動に入りました。

もうひとつ問題なのは交通事故ですね。最近では加害者になってしまいう事が多いです。例えば、自転車に乗っていて、お年寄りにぶつかって怪我を負わせてしまった場合、その賠償問題とか道路交通法の改正点など、話し合いの中で教えていかなければいけない事です。

—今スマホの事が話に出ましたが在校生はどうでしょうか。

笹本 ほとんどの人が持っています。私の回りでは問題があったとは聞いておりません。顔を見て話をするのではなく文字で話をする

いうデータを聞いた時、子供達に即返信すべきと強迫観念があるのを感じました。

どはあるのでしょうか。高塚 磐田の国際交流協会の役をやっていますが、この地域に住む外国人の方達



高塚 啓子さん

鈴木 言葉は文字になるものですか「きれい」と本人が誉めたつもりでも「きれい」の文末が相手には？だったり、だったりするちょっとした行き違いが起るとニュースでも言っていました。南高の中では勉強にしっかり時間を割いている生徒さんは携帯からきちっと時間を控えています。

あとは他校の生徒さんと小中からの繋がりを使っていく生徒もあり、時間の差はものすごく違うなという事を話を聞いていて感じます。

使わない、また時間数の少ない生徒さんというのはそのコミュニケーションにもあまり関わらないように生活しているかと思えます。良いか悪いかは別として自分の目標を達成していく為にはこの時期、それでいいではないかと言おうらいきちっとされていると思えます。

しかしそうではなく、お友達との関係を考えて引きずられているわけではないが、切れない状態で自分の制限をどこにしようかと迷っている生徒達は多いです。

刈谷市では時間制限を作ったんですが、それを歓迎する生徒達が半分いると

鈴木 千枝さん

高校から大学に入る時に全国的にネットは広がるので、自分の進学先の大学名を入れるとパッと人が集まるんですね。すると入学する前にその大学のコミュニティができて上がるんですね。

子供達の現状は難しいなと思えました。刈谷市でやったような提唱を県レベルでやってほしいです。

携帯に興味を持ち始める小学校の低学年の頃から時間などルールを決めて使っていくという事を、意識づける教育が広く連携される良いのではないかと

地域との関わりや体制な

た」と。そういう磐南生を見ていて、ボランティアに限らずこういうイベントに参加してもらおう中で、この子達の可能性はもっともっと広がるのではないかと

地域も若い子達の参加はとても大切であるし可能性を感じました。

これは磐南に限らず市内全体の高校生も参加したらと思い、このような地域との関わりは大いに大切であると思えます。

—今の高校生活をどのように送っていますか。



笹本 美和さん

笹本生徒会長 私は一年生の四月に生徒会に入りました。それと同時に、吹奏楽部にも入ったんですが、月曜日から土曜日まで毎日練習があり、とても忙しい部活です。

生徒会に入る時に、勉強と部活と生徒会は全て両立すると決めて入りました。

サッカー部で生徒会を頑張っていた先輩がいて、その姿はとても励みになりました。生徒会と部活では、顧問の先生にとってもお世話になりました。

部活ではすごく厳しい指導をしていただきました。中学校までは温室教育と言いますが、あまり厳しくはなかったんですが、高校に入ってとても厳しく、でもそれで成長できたので感謝しています。

二年の時に部活の顧問の先生に「謙虚になりな

い」と言われ、謙虚になるってどういう事かなど最初は思っていたんですが、部活が終ってからすごく分かるようになってきました。

大人の方は私達より二倍以上生きていらっしゃるの

で、その分の経験は私達よりずっとあってその上で指導して下さっている事なので、「大人の言う事はちゃんと聞きなさいよ」という事であったり、「自分の悪いところはちゃんと認めて直して行こうね」と言う事でした。

部活の全体にそういう指導があったので部活として

もすごく成長したと思えます。

生徒会でも厳しい指導だったんですが、私が入った頃は六人位でしたがその後どんどん人が減ってしまいい、今年のはぐま祭

最後に学校長より

—校訓を生かしてどのような教育をしていきたいかお話し下さい。



松田 好道 校長

松田 先ほど笹本さんから生徒会長として「はぐま祭」をやり切ったという話がありました。

生徒会役員が少なく、「はぐま祭」の成功に向け、彼女はたいぶ苦労していたようです。その苦労を見て、「何とかしよう」と周囲の生徒が立ち上がる。これが磐南です。

閉会式で、彼女がステージに立ち、生徒に向かって「はぐま祭、ありがとう」と話し始めたんですね。その時、突然、客席の中から、数人の生徒が花束を持って彼女に駆け寄りました。それに合わせるかのよう



はできないんじゃないかという状態だったので、八組の理数科の三年生がそ

うに、生徒の中からは「さーさと、さーさと」との大コール。彼女は感激して泣

いてしまったんですが、学力だけでなく、優しさや思いやりを持った生徒がたくさんいる。それを確信した出来事でした。

長い人生において、大学に進学する事は、通過点に過ぎないと思えます。大学を卒業して様々な職に就き、社会人となった時に、本当に魅力ある人間になってほしい。そのためには、磐南

在学中、学校行事や部活動をはじめ、様々な事にチャレンジする事が大切だと思います。

何事にも全力で打ち込む。失敗や恥をかいても、また立ち上がるそんな逞しさを生徒に身に付けてもらいたい。また、体験を通して自



分の意見を持ち、自分をしっかり主張できるそんな資質も磨いてもらいたい。

「心も身体も逞しく」これを生徒に伝えていきたいと思っています。

—本日は教育座談会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。貴重なお話し、ご意見をお聞きしました。

この座談会をはずみに百周年に向けて同窓の絆を一層深めていく事を願っています。

故郷の周辺をたずねて

— 袋井の名刹・古刹 — 遠州三山

資料提供：袋井市教育委員会
取材：鈴木昭次（高12回）



油山寺 三重塔
昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物



法多山尊永寺 参道

名刹・古刹をたずねて

袋井は静岡県西部に位置し、太田川、原野谷川、遠州灘と自然環境に恵まれ、平坦な大地には田園と茶畑が広がる美しいまちです。今回は「遠州三山」とよばれる古刹、医王山油山寺、萬松山可睡斎、法多山尊永寺をたずねてみました。

医王山油山寺

油山寺は今を去る千三百年の昔、行基菩薩により開山された真言密教の古刹であります。御本尊薬師如来は、行基菩薩の御作で、特に目に利益があらたかので、四十六代孝謙天皇が当山で眼病全快され勅願寺となりました。

その昔この山中に油がわき出ていたので油山寺と寺号が付けられ、土地の人々には愛称「あぶら山寺」と呼び親しまれております。境内五十町歩は山谷、千紫万紅の変化にとみ山門（元掛川城大手門）をくぐり、本坊（祈願所）に参りそして鳴沢のせせらぎ、竹林を見て、一万年の照葉樹林の森の中に野鳥の声を楽しみ歩くと千年一日として酒れぬるりの滝に出る。杉並木の中、苔むした石段を右に左にと登ると源頼朝公建立の三重塔、塔より卅三の段を登ると薬師本堂がお祀りされ、油山寺は千古の靈地そのままを現在に止めた靈山であり、心の静養とお参りするたびにやすらぎを得られる寺であります。

又、平成二十五年十二月宝生殿が新築落成され「宝生殿拝観めぐりやくめぐり」

と題し、内拝観をはじめました。文化財の方丈、書院をはじめ、不動尊、書家の川村驥山先生の傑作の書、四天王、十三佛様の戒壇めぐりなどができ写経、写仏も行えます。



油山寺 宝生殿



油山寺 るりの滝

本年八月三日、三年に一度の大念珠祭（世界一大きな数珠廻し）が行われました。

萬松山可睡斎

萬松寺可睡斎は「おかし」のとも呼ばれる曹洞宗の古刹です。東海道一の禪の修行道場であり、多くの修行僧が集まっています。秋葉三尺坊のご神体をまつているところから、秋葉信仰の総本山としても知られています。可睡斎は六百年前（室町時代初期）一四〇一年如仲天閣禪師によって開創された曹洞宗屈指の名刹です。

十一代目住職仙麟等膳和尚は、今川氏の人質となっていた家康を逃がしたことがあり、後に家康が浜松城主となった折り（一五七〇

年）、報恩の為に浜松城に招かれたその席上で、コックリコッコリと居眠りを始めました。

家康は「自分をかわい子供のように思ってくれからこそ、安心して居眠りをする」と喜び、「和尚、睡る可し」と語りかけた。家康三七才、等膳六一才の時。

以来、等膳は「可睡和尚」と呼ばれ、住職を任された袋井市久能の「東陽軒」は「可睡斎」として改名した後、に拾万石の待遇と徳川幕府最初の総録司という職を与えられました。

可睡斎は悠久六百年の歴史を刻む、徳川家康と縁深き古刹。現在は曹洞宗専門僧堂として多くの雲水が修行しています。大本山永平寺（福井）・大本山總持寺（横浜）を兩大本山とし、總持寺の直末寺院となっています。



可睡斎 本堂



可睡斎 護国塔 県指定文化財

護国塔 明治四十四年の建設。日露戦争の戦死者の霊を祀るために作られた。

御真殿三尺坊様御真鉢を祀る 秋葉三尺坊大権様は千三百年前観音様の化身として信州に出現され、火災消除を第一とする衆生済度の誓願を發せられました。この秋葉三尺坊大権現様の御神鉢が明治六年に秋葉寺より遷座され、以来秋葉総本山可睡斎は全国より信仰を集める祈禱の一大道場として、日々火防と人々の幸福を祈願しています。



可睡斎 御神殿 三尺坊

法多山尊永寺

略縁起

法多山尊永寺は「はったさん」と親しみを込めて呼ばれています。寺号を尊永寺と称する。高野山真言宗の別格本山です。本尊正観世音菩薩は厄除開運のご利益に靈驗あらたかであるとして、古来より俗に厄除観音と呼ばれております。神龜二年（七二五）、聖務天皇の勅命を受けた行基上人が大悲観音心臨の聖地をこの地に探し求め、自ら刻んだ本尊正観世音菩薩を安置したのが縁起といわれています。

本尊の靈徳は遠く京都に及び、白河、後白河天皇の勅願あつく定額寺の列に加えられていました。その後



尊永寺 本堂



金銅五種鈴



田遊祭

- ◆ 四季ごよみ
 - ◆ 元始祭 一月一日～七日
 - ◆ 田遊祭 一月七日
 - ◆ 節分祭 二月節分当日
 - ◆ 初午祭 二月初午当日
 - ◆ 星祭 二月十五日～十七日
 - ◆ 不動祭 四月二十八日
 - ◆ 青葉祭 六月十五日
 - ◆ 万灯祭 七月九日、十日
 - ◆ 五穀祭 十一月・最終金、土、日曜日

今川、豊臣、徳川等武將の信仰を得て、特に慶長七年（一六〇二）徳川家康公より五万石の格式を以って遇せられ、一山十二坊の法燈が栄えましたが、明治維新に朱印地返還、十二坊を廃して総尊永寺と改め今日に至りました。正月には多くの老若男女が初詣に訪れます。春は桜、夏はホタル、秋はイチョウが美しく、又「田遊祭」「節分祭」「万灯祭」の行事には大変な賑わいを見せます。境内で売られている厄除けだんごは、参拝者の楽しみのひとつであります。



尊永寺 黒門 平成元年4月1日 市指定重要文化財建造物



尊永寺 仁王門 昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物

ぞよ風が吹く山中に 悠久の時間が流れる。

春は桜、夏は紫陽花、ホタル秋は紅葉と四季折々の装いを魅せる。豊かな自然の中で、年間を通じ様々な祭事が行われる。

東海道の面影を辿る。

袋井宿は、東海道五十三次のちよとどまん中。本陣三軒、旅籠五十軒、宿建人馬百人、百匹の規模の宿場でした。東西文化の中間点として、物資と人々の往来や秋葉山への参拝客などで賑わったといわれています。当時の東海道の面影を残す松並木や宿場公園が時代を超えて往時を語りかけてくれます。



長州征伐に向かう第14代将軍徳川家茂の行列を描いた「末広五十三次袋井」



旧東海道松並木



袋井宿東本陣公園



袋井宿公園

文科省指定

SSH

スーパーサイエンスハイスクール

第1期 平成15年度～17年度
第2期 平成18年度～22年度
第3期 平成23年度～27年度
磐南SSHは第3ステージへ

第3ステージ…理数科だけでなく全校・全教科で取り組むSSHへ
先進的な自然科学研究者となる人材育成を目指すとともに、サイエンスマインドを基調とした教育を実践するためのカリキュラム・指導法・教材等の研究開発をしています。事業対象は全日制の全生徒とし、全教科で取組み、学校設定科目「SSH講座」を通して科学的な視点を持った人材を育てています。

☆国際的視野をもったスペシャリストの育成
☆科学的価値を理解し科学的視点を持つ人材の育成

◆学校設定科目「SSH講座」

理数科 …… 磐南スーパーサイエンスI・II・III
普通科・文系 …… 磐南サイエンス探究A
普通科・理系 …… 磐南サイエンス探究B
全ての教科・科目で「科学」をキーワードにした授業を実施

磐南スーパーサイエンスI

(理数科・学校設定科目)

サイエンス探究A

(普通科文系・学校設定科目)

自然科学への入り口としてミクロスケールとマクロスケールの世界を知り、さらに理論のベースとなる数学的アプローチの基礎を学んでいます。

文型クラスにおいても科学的視点と国際性を持たせようという狙いで、サイエンスデザイン、科学者の文章、英語によるプレゼンテーションを学んでいます。



天体観測



微化石観察



科学トピック (英語)



SSH文章案内「科学ことばこころ」



サイエンスデザイン

SSH実験講座 (高大連携)

大学や研究機関における講義と探求活動を通して、創造性や独創性の基礎を培い、論理的な思考力を育成しています。



浜松医科大学



静岡大学



東京大学

他に静岡理工科大学・静岡産業大学・浜松ホトニクスなども連携

英語による科学セミナー

理数科2年生を対象に、様々な分野の外国人研究者を招聘し、英語による講義を受けます。科学や研究に対する関心を高め、英語の学習意欲を高めています。

全て英語による講義です。生徒も積極的に英語での質問にトライしました。年3回の外国人講師の講義が予定されています。



京都大学・中村研究室 Dr.Nick Gower (イギリス出身)

SSH研究発表会

●全国大会・横浜

文部科学省と独立行政法人科学技術振興機構は、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会を、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)において二日間の日程で開催しています。本研究発表会において、平成23、24年度にはポスター発表賞を受賞しました



●東海フェスタ・名古屋

SSH東海地区フェスタは東海地区のスーパーサイエンスハイスクールが一堂に集まり、研究開発の成果を発表する場で、また同時に指定校相互の交流、情報交換の場となることをめざして開催されています。



口頭発表奨励賞受賞

海外での研修・発表

アジア・オセアニア地球学会 in シンガポール

AOGS(アジアオセアニア地球学会)はアジアオセアニア地域の地球科学者から構成されている国際学会です。平成24年8月シンガポールで行われた宇宙教育のセッションで、「高度発光現象の観測」というテーマで、英語でポスター発表を行いました。



UAE海外研修(コアSSH) in ドバイ

平成24年度には「コアSSH」の連携校として、UAE(アラブ首長国連邦)で行われた海外研修に参加しました。英語によるプレゼンテーションや現地のフォーラムに参加し、様々な講義を受け、国際的な科学リーダーになるための経験を積みました。



SSH記念講演 (11月)

- 平成15年度 ノーベル物理学賞 江崎 玲於奈先生
- 平成16年度 ノーベル化学賞 白川 英樹先生
- 平成17年度 東京大学教授 松井 孝典先生
- 平成18年度 総合研究大学院大学教授 長谷川 真理子先生
- 平成19年度 京都大学霊長類研究所所長 松沢 哲郎先生
- 平成20年度 桜美林大学リベラルアーツ学群教授 芳沢 光雄先生
- 平成21年度 前国立天文台長 海部 宣勇先生
- 平成22年度 名城大学大学院理工学研究科教授 飯島 澄男先生
- 平成23年度 東京大学大学院情報学環教授 大島 まり先生
- 平成24年度 青山学院大学総合文化政策学部教授 福岡 伸一先生
- 平成25年度 東京大学総合文化研究科教授 岡ノ谷 一夫先生
- 平成26年度 東京理科大学工学部教授 小林 宏先生

第4回国際地学オリンピック ジャカルタ大会2010年

銀メダル受賞 川島崇志君 (現東京大学3年)



銀メダルと賞状を手にした川島君

第4回国際地学オリンピック(インドネシア大会)は2010年9月にジャカルタ市周辺で開催されました。世界17カ国・地域から63名の高校生が参加し、筆記試験や実技試験がおこなわれました。本校の川島崇志(たかし)君は見事「銀メダル」を受賞しました。

第2回・科学の甲子園全国大会

独立行政法人科学技術振興機構が主催する「平成24年度科学の甲子園」静岡県大会では、①「総合競技(サイエンスコミュニケーション)」ゲームII分子モデルの言



兵庫県総合体育館 平成25年3月23日～25日

語表現とその作成)、②実験競技(岩石の密度の測定から地球を構成する岩石の考察)において、本校Aチームが優勝、Bチームが準優勝をしました。また、県の代表として全国大会に出場しました。



はぐま祭を終えて

生徒会長 3年 笹本美和

はぐま祭が終わりました。私が皆さんにお伝えしたいことは、今年度ははぐま祭が、本当に多くの人の支えや助けがあって出来たものだという事です。

今年度の生徒会は、本部役員の人数がとも少なく、はぐま祭の運営さえも難しいというような状態でした。しかし、このような状況を聞いて心を動かし、忙しい中、運営に力を貸してくれた人たちがいました。集まってくれた皆さんは、はぐま祭をよいものにしようと、精一杯頑張ってくれました。一緒に頑張ってくれた皆さんがいたことは、私の心の大きな支えでした。また、誰よりも私たちの



そばで支えてくださった顧問の喜多先生、温かい言葉をかけてくださった先生方、それぞれの展示作りに全力で取り組んでくれた全校生徒の皆さんに、本当に感謝しています。

今年のはぐま祭のテーマは「彩」でしたが、本当に多くの人の力で作り上げられ、一人ひとりの美しいカラーで彩られたはぐま祭であったと思います。皆さんの心の中にも、はぐま祭の準備から当日までの時間が、素晴らしい思い出となっていたら嬉しいです。

先日の「はぐま祭」に初めて参加して、クラスで学年で、そして全校生徒で団結して一つの行事を作り上げるの大切さと楽しさを学ぶことができました。

私たちは一年生が入学してから約二ヶ月が経ちました。入学したばかりの時は、これから新しい学校生活が始まるというわくわくする気持ちと、戸惑いや不安などの様々な気持ちが入り交じっていました。しかし今は高校生活にもだんだん慣れてきて、少しずつ戸惑いや不安はなくなってきました。

磐田南高校に入学して

1年 一色淳之介 (向陽中出身)

私は、入学する前は磐田南高校では勉強しきしないのではないかと考えていました。実際に入学してみると、私がイメージしていたものと違いがありました。磐田南高校は、勉強だけではなく部活や様々な行事にも積極的な力をいれていたのです。

高校は中学と違って勉強しなげなければならないことがたくさんあり、毎日学校の宿題や次の日の教科の予習に追われています。また部活動との両立をしなければならぬので、大変です。私は、中学と高校の勉強量のあまりの違いに自分をしっかりと管理することができなかつたり、毎日決まった時間に勉強ができなかつたりしたために、中間テストではあまり良い成績を残すことができませんでした。

私は今「核(コア)の二時間」を意識し、自分には何が足りないのか、何をすべきなのかを考えて目標を立てながら生活しています。私は、磐田南高校の校訓である「質実剛健」「真剣至誠」「文武両道」に沿って、磐田南生になれるよう日々努力を重ねたいと思っています。

今回初めてホストファミリーをしましたが、こまめに楽しいものになるとは想像していませんでした。日本とアメリカの文化交流の中で、言葉はもちろん文化も違う中で、うまく相手を通じるように話したり、文化を教えたりすることが最初はとても難しく感じました。でも数日間一緒にいると、徐々に慣れてきて毎日楽しくなりました。しかし一週間も短く、別れはとても悲しくなりました。来年はぜひアメリカで再会を果たしたいです。この機会を通して、

しかし、初日にMV生に会って不安は消え、私の家にホームステイしてよかったと言ってもらえるように頑張ろうという気持ちになりました。英語で会話しているときは、英語を学んでいる本当によかったと思う瞬間でした。言語も文化も違う友達と心を伝えあえたことは感動そのものでした。貴重な体験をさせていただき感謝しています。最高で決して忘れることのない5日間でした。



マウンテンビュー 留学生受け入れ

3年 松下佳苗



今回の受け入れで、昨年アメリカでホームステイした時よりも格段に英語でコミュニケーションがとれるようになりました。来る前はちゃんと家や学校の説明ができるか不安でした。

2年 加藤 駿
今回初めてホストファミリーをしましたが、こまめに楽しいものになるとは想像していませんでした。日本とアメリカの文化交流の中で、言葉はもちろん文化も違う中で、うまく相手を通じるように話したり、文化を教えたりすることが最初はとても難しく感じました。でも数日間一緒にいると、徐々に慣れてきて毎日楽しくなりました。しかし一週間も短く、別れはとても悲しくなりました。来年はぜひアメリカで再会を果たしたいです。この機会を通して、

語彙力の大切さがよく分かりました。

生物部の活動紹介

東京工業大学の 高橋篤司先生
昭和大の大場基先生との夏合宿



同窓会長(前)櫻井さんの指導で座禅体験(栄林寺)

生物部は、毎年SSHの支援をいただき、野外活動と研究機関での実習を交互に、夏合宿として行っています。本年度は実習の年でした。顧問の私は、昨年冬に、前校長の伊藤律夫先生から、同窓会関東支部の高橋篤司先生(高37回)が生物部のOBでおられることを聞き、「次の合宿は東工大にお願いしよう」と思い立ちました。早速伊藤先生から御紹介いただき高橋先生とお話を進めていく中で、昭和大腫瘍分子生物学研究所の大場基先生(高37回)を紹介していただきました。生物部が希望する分子遺伝学の実験は、大場先生の研究室で行わせていただくことになりました。大場先生は約50

3日目は佐々木康綱所長の「今日の癌治療」と題する約2時間の講義を受講しました。帰りの新幹線の中で、ある部員が私にこう尋ねました。「先生、僕たちもいつかは、大場先生達がしてくださったみたいに、後輩たちに教えてあげることになるのかな。」(顧問 山村京子)

細胞内の遺伝子発現を調べる実験方法を学ぶことでした。全RNAの精製、逆転写反応によるcDNAの作成、RT-PCRにより何種類かのDNAを増幅しそれぞれの量の变化を調べると同時に、免疫抗体染色で細胞の中での様々なタンパク質の増減を観察し、両者を比較して発現している遺伝子を推定するというのが、その過程です。大場先生の熱血指導の下、どの部員も引き込まれて、熱心に集中して取り組んでいました。

3日間の合宿の1日目は、東工大で高橋先生の講義と秋山教授のバイオインフォマティクスの講義を聴講しました。大学の学問の幅広さを実感できる体験でした。2日目は昭和大で終日実験。この実験の目的は、細胞内の遺伝子発現を調べる実験方法を学ぶことでした。全RNAの精製、逆転写反応によるcDNAの作成、RT-PCRにより何種類かのDNAを増幅しそれぞれの量の变化を調べると同時に、免疫抗体染色で細胞の中での様々なタンパク質の増減を観察し、両者を比較して発現している遺伝子を推定するというのが、その過程です。大場先生の熱血指導の下、どの部員も引き込まれて、熱心に集中して取り組んでいました。



大場先生と部員たち(昭和大にて)

大学合格状況

(数字は現役合格者)

国立大学	人数
北海道	5
東北	5
福島	1
筑波	3
埼玉	3
千葉	2
お茶の水女子	1
電気通信	1
東京	3
東京外国語	1
東京学芸	5
東京工業	1
東京農工	1
一橋	1
横浜国立	3
新潟	2
金沢	5
福井	1
山梨	1
信州	2
静岡	29
浜松医科	5
愛知教育	1
名古屋	5
名古屋工	2
和歌山	1
滋賀	1
京都工芸繊維	1
京都	1
大阪	2
奈良女子	1
岡山	3
広島	2
香川	1
九州	3
鹿児島	1
国立大学計	106
公立大学	人数
札幌医科	1
国際教養	1
新潟県立	1
群馬県立県民健康	1
高崎経済	4
都留文科	1
神奈川県立保健福祉	1
横浜市立	1
富山県立	1
石川県立	1
静岡県立	12
静岡文化芸術	1
愛知県立	3
名古屋市立	2
大阪市立	1
神戸市外語	2
北九州市立	1
熊本県立	1
公立大学計	36
主要私立大学	人数
青山学院	5
慶応義塾	6
芝浦工業	14
上智	5
中央	23
東京理科	10
日本	7
法政	6
明治治	22
明治学院	11
立教	8
早稲田	10
常葉	61
南山	28
同志社	19
立命館	56
関西	12
関西学院	7

在校生の活躍

地学部

●第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会 自然科学部門 (つくば国際会議場)

地学口頭発表部門 最優秀賞 島 康太朗、鈴木 怜央
 ポスター発表部門 文化庁長官賞 中村 祐哉、大橋 俊公
 ポスター発表部門では35発表中第2席に相当する文化庁長官賞を受賞した。また、口頭発表の地学部門では、33発表中第1席に相当する最優秀賞を受賞した。ポスター発表部門の文化庁長官賞は昨年引き続き2年連続で、口頭発表部門でも第1席となった。同一部活が両者に入賞したことは、高文化祭自然科学部門の歴史の中でも快挙である。



ビジュアル部

●第38回全国総合文化祭茨城大会写真部門 (オークラフロンティアホテルつくば つくば国際会議場)

「遺伝子のリレー」優秀賞 (朝日新聞社賞) 佐野 舞咲
 「届け」奨励賞 磯田 晴香
 3年振りの全国大会での入選となった。2名同時に受賞したのはビジュアル部としては初めてのことであり、撮影に協力してくれた多くの方々に改めて感謝したい。大会では全国の素晴らしい作品やそれを撮影した生徒、顧問の先生方と触れ合う機会があり、貴重な時間を過ごす事ができた。



陸上部

●東海高校総体 (瑞穂公園陸上競技場)

女子砲丸投 池端 美咲 出場
 女子400mH 田邊 杏実 出場



●東海選手権大会 (長良川メモリアルセンター 岐阜県)

女子棒高跳 戸倉 未稀 8位
 女子1600mR 百鬼 葉月、田邊 杏実、永田 愛理、高橋 菜緒、出場。

野球部

●第96回 全国高等学校野球選手権 静岡大会

1回戦 富士球場
 磐田南高校 0-1 伊豆中央高校

弦楽合奏部

●第38回全国高等学校総合文化祭 いばらき総文2014 器楽・管弦楽部門 (ノバホール 茨城県つくば市)

参加生徒名
 森 万由美、金原 理奈、鈴木 悠華、鈴木 薫乃、松本 真澄、村松あかり、大石 桃子、杉山 千紘、武井 春瑠、村松 愛莉、井浪 愛、斎藤侑里子、稲波 千穂、中本 千鶴、野栗 大晴、山崎 圭亮、大庭 美結、近藤 優奈、宮脇日菜子、小池愛奏音、松本真亜子、白石 彩香、山田和佳奈、杉本 瞭太、長谷川七穂

平成元年に創部の弦楽合奏部は、定期演奏会開催も21回を数え、また、はぐま祭での演奏も部展審査で14年連続3位以内に入賞(第1位8回)を続けています。そのような地道な活動により今回初めて単独で(合同演奏としては過去に3回参加)県代表として全国大会への出場の推薦を受けました。モーツァルトの交響曲第25番の第1楽章を演奏したわけですが、去年の夏より練習を始め、3回の本番(高文連演奏会、定期演奏会、はぐま祭)を経験し、少しずつ演奏のレベルを上げていくことができ、本番では緊張感があり、聴き手に演奏者の気持ちがよく伝わるとても良い演奏ができました。この演奏会では順位や表彰はありませんが、部員のほとんどが高校から始めた初心者でありながら、静岡県代表として堂々と落ち着いて演奏した部員たちを誇りに思っています。よく頑張ったと思います。(顧問 大沢 記)



水泳部

●第61回東海高等学校総合体育大会 水球競技 (愛知県口論義公園温水プール)

予選トーナメント
 磐田南高校 18-3 岡崎城西高校
 決勝リーグ
 磐田南高校 7-8 大垣東高校
 磐田南高校 16-6 名古屋高校
 磐田南高校 5-13 四日市中央工業高校

●国体東海ブロック (大垣市民プール)

静岡県 11-10 三重県
 静岡県 7-5 岐阜県
 静岡県 15-4 愛知県

…予選1位通過。国体に出場決定。国体は9月8日(月)~9月10日(水)長崎市民総合プール。本校の選抜選手/中安 正己、鈴木 拓海、澤田 穂高、指宿 量矢、平塚 貴大、指宿 雄右、帯同マネージャー/野末 侑希)

●静岡県高等学校水泳競技大会水球競技大会県大会 (磐田南高校)

14年連続の県優勝。
 …3年生が中心となり1点差を制し勝つことができた。2連覇とインターハイをかけて東海総体に臨んだ。



囲碁部

●静岡県高校囲碁選手権大会女子個人戦 (静岡高校)

女子個人2位 野崎 清楓、4位 菅野 未希
 …1位は浜松学院2年で全国クラスの選手のため敗戦はいたしかたない。野崎さんは今後に期待できる。



和の心 贈ります

かしゅう 菓子勇本店

磐田
その
か
た

6代目店主 山田 佳幸 (高28回)

磐田市中泉坂上町2988 TEL・FAX 0538-32-3340

ISO9001/ISO14001認証取得



総合建設業

石川建設株式会社

取締役社長 石川 大造 (高12回)

磐田市今之浦5丁目1番地1

TEL.0538-36-0021(代)

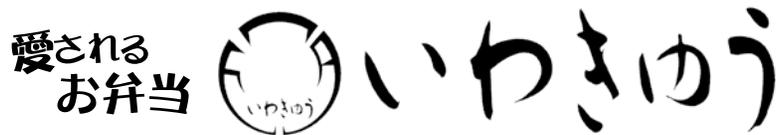
<http://www.ishikawa-cnst.co.jp>

人・出会い・感動……そして発見

ホテル 観世

袋井駅前 TEL.(0538)43-1212

比那 純 (高15回)



鷹野 靖 (高15回)

〒438-0814 磐田市気子島961

TEL 0538-36-9261 FAX 0538-37-3572

地域に密着した医療を目指します

内科・小児科 木佐森医院

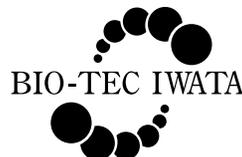
院長 木佐森正樹 (高25回)

〒438-0077 磐田市国府台55-1

TEL.0538-32-2555

往診応談 禁煙治療(保険可)

“人と地球の健康に貢献する”



磐田化学工業株式会社

本社 〒438-0078 静岡県磐田市中泉3069番地 TEL (0538) 35-5100(代)

処方せん受付 **キョーロピン** **ササノ**

国府台薬局

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175

鈴木 敬三(高9回) 鈴木麻里奈(高38回)

いわしんの「i」は、地域への「愛」でできています。
ひとりひとりの「アイ」が地域の力に。



応援します あなたの笑顔

磐田信用金庫

〒438-0078 磐田市中泉一丁目2番地1

TEL.0538-32-5110(代表)

<http://www.iwashin.co.jp/>

レンタル 建設仮設材レンタル 人材 人材紹介・派遣サービス

請負 クサビ式足場請負 機械 仮設材清掃機販売

site 株式会社 サイト

安心の須山建設グループ

代表取締役 大庭 義信 (高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-1 ☎(053)485-4126(代)

東遠営業所 掛川市大坂6369 ☎(0537)72-4129

人材事業部 ☎0120-452-310

<http://www.your-site.co.jp>

磐田脳神経外科病院

脳ドック検診受付けは随時

院長 金子的 実 (高21回)

〒438-0086 静岡県磐田市見付1766番地の1

TEL (0538)34-1111 FAX (0538)32-1441

<http://www.iwatanoge.com>

給油から保険・車検・カーリース迄、
安全・経済走行が私達の願いです。

株式会社 遠州日石

代表取締役社長 鈴木 裕司 (高19回卒)

本社 浜松市中区常盤町2-2 TEL053-454-7431



光・風・熱の技術で次の100年へ 静岡製機株式会社

営業本部 | 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300
TEL:0538-23-2822 FAX:0538-23-2890

原田和義 税理士事務所

税理士 原田 和義 (高20回)

静岡県袋井市国本2493-7
TEL&FAX 0538-43-2462

静岡県注文戸建建築実績

おかげさまで **12年連続No.1**

(2002年4月~2014年3月実績) ※当社調べ

セキスイハイム東海

〒430-7725 浜松市中区板屋町111-2 (アクトタワー25階)

<http://www.816t.jp> ☎0120-000-816

さわやかな環境をクリエイト

BANNAN

磐南浄化槽株式会社



代表取締役社長

木戸 智弘 (高34回)

磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

TK TANIKO 株式会社タニコー



あなたの大切な人を救う緊急救助用



高33回 水谷 眞啓 高33回 青山 光男 (旧姓 金原)

磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代) FAX 0538-67-1881
mizutanim@taniko.co.jp <http://www.taniko.co.jp>

ブランドリサイクル

PickUP

浜松宮竹店・浜松西伊場店
磐田店・掛川店・古着バザール宮竹店

金・ブランド買取専門店

キンバリー

浜松高林店・浜松向宿店・藤枝インター店
静岡SBS通り店・静岡草薙店・静岡沓谷店

株式会社 **ピックアップジャパン** 本部 磐田市今之浦3-4-2
URL: <http://www.pickup-japan.com>



中小企業の事業主様の「人」に関する経営アドバイザー
たていし社会保険労務士事務所

社会保険労務士 立石 泰広 (高27回)

〒437-1104 静岡県袋井市新堀121番地
TEL. 0538-86-3725 FAX. 0538-86-3728
<http://www.tateisi-sr.jp/>



小物部品・締結部品・精密ネジ部品

ISO9001 認証取得
ISO14001

株式会社 マルイチ

代表取締役会長 安間 信義 (高7回)

代表取締役社長 安間 浩彦 (高33回)

取締役 松島 孝久 (高17回)

本社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540 TEL(053)441-4684(代) FAX(053)441-3452
ホームページ <http://www.ohha.net/maruichi/>
竜洋工場 〒438-0215 磐田市小中瀬722 TEL(0538)66-7769(代)

TOPPAN 凸版印刷株式会社

代表取締役会長 足立 直樹
(高9回)

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 www.toppan.co.jp

まるや薬局

本店 袋井市川井 消防署東
TEL (0538) 42-3654

久能店 袋井市久能 聖隷袋井市民病院入口
TEL (0538) 41-0631

高21回 木野 省三 高54回 井上まり奈 高56回 木野 旅人

長尾 仁 税理士事務所

税理士 長尾 仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1
TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735

TKC コンピュータ会計 山田会計事務所

税理士 山田 敏康 (高24回)

〒437-1203 静岡県磐田市福田453-8 TEL(0538)55-2115 FAX(0538)55-3484

NAC

ナックフィーディング株式会社

本社・工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保117-3 TEL.(0538)38-2666[代表]

<http://www.nacweb.co.jp>

代表取締役会長 深見 康弘 (高15回)

会計報告

平成26年度磐田南高校同窓会会計予算

収入 平成26年4月1日～27年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,972,000	平成26年3月卒業生331名×12,000円
預金利息・配当金	35,000	
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高26回)
雑収入	200,000	同窓会報広告代等
前年度繰越金	77,256	
合計	4,484,256	

支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,600,000	
会議費	250,000	役員会、評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	400,000	同窓会総会、慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	640,000	支部総会助成、祝儀、旅費等
慶弔費	200,000	転退職餞別、慶弔費等
事務費	100,000	通信費、事務費等
事務局費	10,000	人件費、交通費
事業費	2,690,000	
卒業記念品代	200,000	校章入り印鑑
会報発行費	2,200,000	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	100,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	190,000	ホームページ運営費
予備費	194,256	
予備費	194,256	
合計	4,484,256	

平成25年度磐田南高校同窓会会計決算

収入 平成25年4月1日～26年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,888,000	平成25年3月卒業生324名分
預金利息・配当金	34,400	
寄付金	231,500	卒業40周年寄付金(高25回生)
雑収入	219,370	同窓会報広告代等
前年度繰越金	234,137	
合計	4,607,407	

備考:平成26年3月卒業生同窓会入会金・後援会費 4,965,000円(15,000円×331名)は1月29日に入金されていますが、平成26年度分収入とさせていただきます。

支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,519,276	
会議費	222,178	役員会、評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	361,444	同窓会総会、記念マル代、慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	636,680	支部総会助成、祝儀、旅費等
慶弔費	198,000	転退職餞別、慶弔費等
事務費	92,974	通信費、事務費等
事務局費	8,000	人件費、交通費
事業費	3,010,875	
卒業記念品代	198,600	校章入り印鑑
会報発行費	2,526,275	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	97,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	189,000	ホームページ運営費
合計	4,530,151	
次年度繰越金	77,256	

●別途積立金会計

1.終身会費等の積立金(普通預金)	3,652,509	6.利付国債No.2(2年 年利率0.3%)	10,000,000
2.諸事業用予備費	1,986,961	7.利付国債No.3(5年 年利率0.7%)	5,000,000
3.定期預金(磐田信用金庫)	10,000,000	8.利付国債(No.1~3) 利息	661,099
4.定期預金(静岡銀行)	10,087,561	9.磐田信用金庫への出資金	1,000,000
5.利付国債No.1(5年 年利率0.7%)	10,000,000	10.名簿会計	6,315,910
合計	¥58,704,040		

平成26年度会務報告

- 4 / 7 母校入学式
保護者オリエンテーション
同窓会だより第36号編集委員会
(以後毎月継続して会合)
- 5 / 2 会計監査
- 5 / 9 役員会・役員と校内幹事との懇親会
- 6 / 13 役員会
- 6 / 21 評議員会 はぐま会館
卒業50周年記念事業(高校17回)
母校に資金援助(20万円)
- 7 / 18 役員会
- 8 / 16 総会前日打合せ
(役員、当番年次、校内幹事)
- 8 / 17 慰霊祭(高36回担当)
総会(高45回担当)
磐田グランドホテル
卒業40周年事業(高26回)
同窓会に資金援助20万円
- 10 / 10 同窓会だより36号発行
- 11 / 7 役員会、総会当番引継ぎ会
(高45、46回)
- 2 / 6 役員会
- 2 / 27 高校第67回同窓会入会式
- 3 / 1 高校第67回卒業式

平成26年度校内幹事役割分担

- 総務・役員会** / 永田 淳 鈴木文基
青木和彦 佐藤正明
大澤健一 鈴木敦士
- 庶務** / 青島玲子 村井雅子
小粥美穂
- 会計** / 青木和彦 鈴木敦士
- 名簿** / 村松芳郎 藤井元喜
- 慶弔** / 柴田里沙
- はぐま会館** / 大澤健一 鴨藤忠博 永田 淳
- 同窓会だより** / 鈴木文基 青島玲子
村井雅子 柴田里沙
小粥美穂
- ホームページ** / 匂坂真也

やや秋の訪れを感じさせる8月17日(日)午前中には、高36回生によって慰霊祭が厳かに執り行われました。昨年9月から本年7月までに逝去された同窓生の御霊を慰霊する会に御遺族を含め、一〇〇名を超える同窓生が集まっておられました。

また、午後には高45回生担当により第88回同窓会総会が磐田グランドホテルにおいて開催され、その後の懇親会では金メダル9名(88歳)、銀メダル51名(78歳)、銅メダル34名(68歳)の方が表彰されました。本

★平成26年度各種当番年次★

- 卒業10周年 高校55回生(新年次委員選出)
- 卒業20周年 高校45回生(総会担当)
- 卒業30周年 高校36回生(慰霊祭担当)
- 卒業40周年 高校26回生(同窓会に資金援助)
- 卒業50周年 高校17回生(南高校に資金援助・同窓会より銅メダル贈呈)
- 卒業60周年 高校7回生(同窓会より銀メダル贈呈)
- 卒業70周年 見中18回生(同窓会より金メダル贈呈)

役員改選

本年8月の総会において櫻井同窓会長が勇退され、伊藤英明さんが新会長に選出、承認されました。それに伴い4名の役員が退任され、新たに新役員6名を迎えて新体制となりましたのでご紹介いたします。前役員の皆様には長きにわたって同窓会活動にご尽力ください、有難うございました。

新任役員

会長	櫻井孝順(高17回)
副会長	鈴木昭次(高12回)
監査	伊藤英明(高15回)
	袴田悦子(高16回)
	高橋耕太郎(高18回)
	原田康代(高20回)
	山内致雄(高13回)
	長尾 仁(高20回)
副会長	伊藤英明(高15回)
	仲川勝彦(高16回)
	鈴木裕司(高19回)
	原田康代(高20回)
	浅羽 浩(高22回)
	谷口智子(高21回)
	鈴木一雄(高24回)
	長尾 仁(高20回)
監査	山田敏康(高24回)
	留 程

編集委員

八月十七日に、第88回見中・磐田南高等学校同窓会総会が多数の皆様御参加により盛大に開催されました。ここに同窓会だより第36号を発刊することができました。

同窓会だよりは、全国各地・各界で活躍されている同窓生が、同窓としての絆をこの同窓会だよりを通して確かめあうことは誠に意義深いものがあると思えます。内容もその様な主旨を盛り込み編集委員一同四月より取り組んでまいりました。原稿依頼・取材にご協力いただきました同窓生各位に心から感謝申し上げます。

尾崎先生墓前に第八十八回総会開催を報告

今年には総会前日の八月十六日櫻井同窓会長をはじめ役員が総会に先立ち尾崎先生の墓前に「第八十八回総会開催」を報告致しました。校訓「質実剛健・真剣至誠・文武両道」の教育理念は、今も私達の心の支えとなっており今日迄脈々と受け継がれ、歴史と伝統を刻んでいくことを誓いました。

